

2023年4月3日

新型 BMW X5 を発表

プラグイン・ハイブリッド・モデル BMW X5 xDrive50e

48V マイルド・ハイブリッド・システム搭載の M パフォーマンス・モデル BMW X5 M60i xDrive

M ハイ・パフォーマンス・モデルにおいて初の 48V マイルド・ハイブリッド・システム搭載の BMW X5 M Competition

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長：長谷川正敏）は、プレミアム・ミドル・セグメントにおける唯一の SAV（スポーツ・アクティビティ・ビークル）「BMW X5（エックスファイブ）」の新型モデル（一部改良）を、全国の BMW 正規ディーラーにおいて、本日より販売を開始する。納車は、本年7月からを予定している。

BMW X5 は、優れたオフロード性能と、路面での高いパフォーマンスを融合した「スポーツ・アクティビティ・ビークル（SAV）」の先駆的モデルとして、1999年に初代モデルが誕生している。今回発表の新型 BMW X5 は、2019年に登場の第4世代モデルをベースに、特に、エクステリアおよびインテリア・デザインを、よりモダンなデザインとし、BMWらしい走行性へのこだわりと、高い実用性を兼ね備えたモデルである。

新型 BMW X5 のラインアップには、プラグイン・ハイブリッド・モデル「BMW X5 xDrive50e（エクストライブゴーマルイー）」と、BMW M 社が開発する2つの高性能マシン M モデルを、ラインアップする。1つはサーキットでの本格的な走行を可能とすべく開発された M ハイ・パフォーマンス・モデルとなる「BMW X5 M Competition（エム・コンペティション）」、もう1つはサーキットで培われた技術を余すことなく取り入れ走行性能を高めた M パフォーマンス・モデルとなる「BMW X5 M60i xDrive（エムロクマルアイ・エクストライブ）」である。

BMW X5

メーカー希望小売価格（消費税込み）

モデル	メーカー希望小売価格
BMW X5 xDrive50e M Sport	¥ 12,600,000
BMW X5 M60i xDrive	¥ 15,200,000
BMW X5 M Competition	¥ 19,720,000

- 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金（消費税を除く）、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。
- 右ハンドル、AT 仕様。

新型 BMW X5 は、日本においては、BMW 社が初めて国土交通省からの認可を取得した、一定の条件下において、ステアリングから手を離しての走行が可能なドライバーの運転負荷を軽減し安全に寄与する運転支援システム「ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能」の搭載等、最先端の運転支援システムに加え、最新世

代のコネクティビティも有し、「OK, BMW」と話し掛けることで、車両の操作、目的地の設定等が可能である。Apple CarPlay への対応、スマートフォンで事前に検索した目的地を車両に送信する等、利便性が大幅に高められたモデルである。また、BMW デジタル・キー・プラスの標準装備により、車両のキーを持たずとも、対応のスマートフォン、スマートウォッチを携帯していれば、車両に近づくだけでロック解除が可能であり、さらに車室内にロック解除に使用したデバイスがあるだけで、エンジンの始動も可能である。

デザイン

新型 BMW X5 のエクステリア・デザインは、BMW のラグジュアリー・モデルに相応しい圧倒的な存在感、ダイナミズム、威風堂々たる佇まいに加え、スポーティさを強調している。

フロント・デザインの象徴の1つであるヘッドライトは、BMW モデルとして初めて採用となる矢印型デイ・ライト機能を有した LED ヘッドライトを採用している。フロント・バンパーは大型化し、プラグイン・ハイブリッド・モデルにおいては、暗闇で光を放ち存在感を増すアイコニック・グロー・キドニー・グリルとする事で、夜間における存在感を増している。

リア・デザインは、横方向に伸びるスリムかつ大胆にデザインされた X 字型 LED コンビネーション・ライトにより、力強さと X モデルであることを表現している。

インテリアにおいては、12.3 インチのメーターパネルと、14.9 インチのコントロール・ディスプレイを一体化させ、運転席側に湾曲させた最新のカーブド・ディスプレイの採用により、優れた視認性と高い操作性を実現し、BMW 特有の iDrive コントローラー回りをすっきりとさせる事で、運転席まわりの空間を広くし、モダンな印象を与えている。

パワー・トレイン

BMW X5 xDrive50e は、最高出力 313PS (230kW) /5,000rpm、最大トルク 450Nm/1,750-4,700rpm を発揮する 3.0L 直列 6 気筒ガソリン・エンジンと、最高出力 197PS (145kW)、最大トルク 280Nm を発揮するモーターを搭載し、システム・トータルで最高出力 489PS (360kW) *、システム・トータル最大トルク 700Nm* を達成している。電気モーターのみでは、最高速度 140 km/h* まで走行可能で、一充電あたりの航続距離は約 100km* を実現し、容量 29.5kWh のリチウム・イオン・バッテリーを搭載している。

高効率ガソリン・エンジンを搭載する M パフォーマンス・モデル BMW X5 M60i xDrive は、4.4L V 型 8 気筒 BMW ツインパワー・ターボ・ガソリン・エンジンに、ダイナミックな走りを実現する 8 速ステップトロニック・スポーツ・トランスミッション、さらには、48V マイルド・ハイブリッド・システムが組み合わせられ、システム・トータル最高出力 530PS (390kW) *、システム・トータル最大トルク 750Nm* を発揮する。

M ハイ・パフォーマンス・モデル BMW X5 M Competition は、4.4L V 型 8 気筒 BMW M ツインパワー・ターボ・ガソリン・エンジンに、ダイナミックな走りを実現する 8 速 M ステップトロニック・トランスミッション、さらには、48V マイルド・ハイブリッド・システムが組み合わせられ、システム・トータル最高出力 625PS (460kW) *、システム・トータル最大トルク 750Nm* を発揮する。

*: ヨーロッパ仕様値

ドライビング・ダイナミクス

ダイナミックな走行性能、あらゆる運転状況における抜群の安定性、高精度なハンドリング性能、優れた乗り心地、世界最高のドライビング・ダイナミクスの実現を目指し、新型 BMW X5 には、様々な最先端シャーシ・テクノロジーを採用している。

BMW X5 xDrive50e 及び BMW X5 M60i xDrive には「オートマチック・セルフレベリング・コントロール付きアダプティブ 2 アクスル・エア・サスペンション」が標準装備となります。BMW X5 M には「アダプティブ M サスペンション・プロフェッショナル」が装備され、それぞれのモデルの特性に応じた、快適で安全なハンドリングを実現している。また、BMW X5 M60i xDrive には、卓越性とハンドリング快適性を高める電動パワー・ステアリング「インテグレイテッド・アクティブ・ステアリング」を標準装備とすることで、まったく新しい次元の走行快適性と長距離ドライブの快適性を実現している。

BMW X5 M Competition に、電子制御ダンパーとアクティブ・ロール・スタビライザーを備えたアダプティブ M サスペンション・プロフェッショナルを採用する事で、長距離走行において優れた快適性を実現する Comfort (コンフォート) モード、スポーツ走行に適合するボディ剛性を高める Sport (スポーツ)、さらに、ダイナミックな走行を可能にする、Sport Plus (スポーツ・プラス) モード、3 種類のモードを M セットアップ・メニューから選択可能である。さらに、BMW X5 M Competition に、アクティブ・ロール・コンフォートを備えた直進走行時の快適性向上に寄与するアクティブ・ロール・スタビライザー、M スポーツ・ブレーキ、優れたトラクション性能を実現する M モデル専用 4 輪駆動システム M xDrive (エム・エックスドライブ)、リア・アクスルにはアクティブ M ディファレンシャル等を採用する事で、あらゆる状況において、M ハイ・パフォーマンス・モデルに相応しい、優れた駆けぬける喜びを実現する。

ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能を搭載

BMW 社が国内認可取得モデルとして初めて導入したハンズ・オフ機能が搭載されている。「ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能」とは、高速道路*1 での渋滞時において、ドライバーの運転負荷を軽減し安全に寄与する運転支援システムである。この機能は、ドライバーが絶えず前方に注意するとともに、周囲の道路交通や車両の状況に応じて直ちにハンドルを確実に操作することができる状態にある限りにおいて、一定の条件下において、ステアリングから手を離しての走行が可能*2 となる。

*1: 高速自動車国道法に定める高速自動車国道、及び指定都市高速道路に分類される道路が対象。

*2: SAE International (Society of Automotive Engineers) が定めるレベル 2 の段階であり、自動運転ではなく、前方注視が必要となるなど、ある一定の条件が必要。

安全機能・運転支援システム「ドライビング・アシスト・プロフェッショナル」

高性能カメラ&レーダー、および高性能プロセッサーによる高い解析能力によって、より精度と正確性が向上した、最先端の運転支援システムを標準装備している。アクティブ・クルーズ・コントロール (ストップ&ゴー機能付)、レーン・チェンジ・ウォーニング (車線変更警告システム) およびレーン・ディパーチャー・ウォーニング (車線逸脱警告システム)、ステアリング&レーン・コントロール・アシスト、レーン・チェンジ・アシスト、サイド・コリジョン・プロテクションおよび衝突回避・被害軽減ブレーキ (事故回避ステアリング付)、クロス・トラフィック・ウォーニング、ペダル踏み間違い急発進抑制機能を、標準装備としている。標準装備となるパーキング・アシスト・プロフェッショナルには、時速 35km 以下で車両が直前に前進したルート最大 200m までを記憶し、その同じルートをバックで正確に戻ることが可能となるリバース・アシスト・プロフェッショナル機能が採用されている。日本に多数点在する細い道での対向車とのすれ違いに困った際など、安全かつ正確に、元のルートに復帰することが可能となる。

BMW コネクテッド・ドライブ

BMW コネクテッド・ドライブは、車載通信モジュールにより、ドライバー、クルマ、そして取り巻く情報を IT ネットワークで繋ぐことで、「もしもの時に備える万全の安全性」、「カーライフを進化させる革新の利便性」、「充実の情報と最新のエンターテインメント」を提供する総合テレマティクス・サービスとして 2013 年に輸入車として初めて導入された。また、スマートフォン向けアプリの導入により、車両情報やニュース等へのアクセスを可能にし、顧客の利便性を向上させるサービスを提供してきた。さらに、2021 年夏には、より操作性・利便性を高めた新たな機能を追加すると共に、新しいスマートフォン向けアプリ「My BMW」を導入し、車とユーザー、情報をシームレスに繋げ、より快適でスマートなモビリティ・ライフをサポートする新しいパーソナル・アシスタント・サービスとして生まれ変わった。

BMW Intelligent Personal Assistant (インテリジェント・パーソナル・アシスタント)

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、AI 技術を活用することで、音声会話だけで車両の操作、情報へのアクセスが可能となる BMW 最新の機能である。今までの音声入力と異なり、より自然な会話に近い言葉で、ドライバーの指示や質問を理解し、適切な機能やサービスを起動可能にする他、使用頻度に応じてドライバーの好みを学習し、長く乗り続けるほどドライブにおける真のパートナーとしての役割を担うことが可能となる。そして、BMW のインテリジェント・パーソナル・アシスタントの最たる特徴は、ドライバーがシステムの「名前」を自由に付けることが可能な点である。例えば、BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントを起動する際、「OK, BMW (オーケー・ビー・エム・ダブリュー)」だけでなく、呼びかける言葉を任意に設定することが可能なため、より身近な存在としてストレス無く使用することが出来る。

Amazon Alexa

Alexa は、Amazon が提供するクラウドベースの音声サービスあり、全世界で利用され、日本においても、日本語による音声サービスが提供されている。Alexa は、Amazon Echo シリーズなどのデバイスに搭載されており、Alexa に話しかけるだけで天気予報やニュースの確認、音楽ストリーミングの再生、Amazon.co.jp でのショッピング、対応するスマートホームデバイスの操作などが可能になる。オーナーのスマートフォン上アプリ「My BMW」を使用して、車両を Alexa と連携させることにより、自宅さながら、Alexa の様々なサービスや機能を利用することが可能となる。

3 年間の主要メンテナンスが無償となる BMW サービス・インクルーシブ・プラス

3 年間の主要メンテナンス無償提供、タイヤ/キーの破損や紛失の際の費用サポート等が含まれる「BMW サービス・インクルーシブ・プラス」が全車に付帯されている。この「BMW サービス・インクルーシブ・プラス」は、2016 年より BMW 全モデルに標準装備された新しいメンテナンス・パッケージであり、顧客に対してより安心なドライブを提供している。

主な車両諸元

- BMW X5 xDrive50e

全長 4,930mm、全幅 2,005mm、全高 1,755mm、ホイールベース 2,975mm、車両重量 2,500kg、車両総重量 2,775kg、排気量 2,997cc、直列 6 気筒ガソリン・エンジン、最高出力 313PS (230kW) /5,000rpm、最大トルク 450Nm/1,750-4,700rpm、リチウムイオン・バッテリー容量 29.5kWh、電気モーター出力 197PS (145kW)、電気モーター・トルク 280Nm、システム・トータル最高出力 489PS (360kW) *、システム・トータル最大トルク 700Nm*

- BMW X5 M60i xDrive

全長 4,930mm、全幅 2,005mm、全高 1,765mm、ホイールベース 2,975mm、車両重量 2,390kg、車両総重量 2,665kg、排気量 4,394cc、V 型 8 気筒ガソリン・エンジン、最高出力 530PS (390kW) /5,500rpm、最大トルク 750Nm/1,800-4,600rpm、電気モーター出力 12PS (9kW)、電気モーター・トルク 200Nm、システム・トータル最高出力 530PS (390kW) *、システム・トータル最大トルク 750Nm*

- BMW X5 M Competition

全長 4,940mm、全幅 2,015mm、全高 1,750mm、ホイールベース 2,970mm、車両重量 2,340kg、車両総重量 2,615kg、排気量 4,394cc、V 型 8 気筒ガソリン・エンジン、最高出力 625PS (460kW) /5,500rpm、最大トルク 750Nm/1,800-4,600rpm、電気モーター出力 12PS (9kW)、電気モーター・トルク 200Nm、システム・トータル最高出力 625PS (460kW) *、システム・トータル最大トルク 750Nm*

*: ヨーロッパ仕様値

BMW X モデルについて

BMW X モデルは、1999 年に BMW X5 (エックスファイブ)、2004 年に BMW X3 (エックススリー)、2008 年に BMW X6 (エックスシックス)、2010 年に BMW X1 の初代モデルが誕生している。その後、2014 年には BMW X4 (エックスフォー)、2018 年には BMW X2 (エックスツー)、2019 年には BMW X7 (エックスセブン) が誕生している。

この内、BMW X1、BMW X3、BMW X5、BMW X7 は、それまでの武骨な SUV とは明確な一線を画す、オンロード走行性能を高めたスポーツ・アクティビティ・ビークル (SAV) という革新的なコンセプトによって新たなセグメントを確立し、BMW X2、BMW X4、BMW X6 は、スポーティでエレガントなクーペ・デザインと BMW X モデルの力強い存在感を兼ね備えた、スポーツ・アクティビティ・クーペ (SAC) と呼ばれるコンセプトを形成している。

さらに、2023 年には、BMW X モデル初の M 専用モデル、BMW M モデル初のプラグイン・ハイブリッド・モデルとなる BMW XM が誕生し、現在、BMW X モデルは、8 モデルで構成されている。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>